

## 令和6年度 第1回 福知山市上下水道事業経営審議会

日時：令和6年4月16日（火） 午後1時30分から午後3時30分

場所：福知山市上下水道部庁舎 3階 301会議室

〔委員〕 (敬称略)	齋藤達弘	会長・福知山公立大学 教授
	越後信哉	副会長・京都大学大学院地球環境学堂 教授
	松本清香	公募委員（欠席）
	中井政夫	公募委員
	桐村信太郎	福知山商工会議所 中小企業相談所 所長
	衣川浩行	福知山商工会 事務局長
	嵯峨根正和	一般社団法人長田野工業センター 参与
	谷垣 均	福知山市自治会長運営委員連絡協議会 駅前町自治会長
	森田雅子	福知山市連合婦人会 会長
	碓 正登	京都府建設交通部水道政策課 課長
	長谷川広樹	京都府建設交通部下水道政策課 課長
〔上下水道部〕	中村直樹	福知山市上下水道事業管理者職務代理者（上下水道部長）
	松井美幸	経営総務課長
	井上義信	上下水道部次長兼水道課長
	山本英典	上下水道部次長兼下水道課長
〔事務局〕	志賀 亘	経営総務課課長補佐兼経理係長
	櫻尾篤士	経営総務課経理係主任
	山崎志帆	経営総務課経理係主任
	西村さつき	経営総務課経理係主査
	杉山貴哉	経営総務課経理係主査

### ○新規委員委嘱

櫻尾主任 それでは、まず初めに2名の委員の交代がございましたので、委嘱状の交付を行いたいと思います。

～中村部長から2名（桐村氏・碓氏）に委嘱状を交付～

中村部長 令和6年度第1回上下水道事業経営審議会の開催にあたりまして、一言御挨拶を申し上げます。

本日は、お忙しい中、上下水道事業経営審議会に御出席いただき誠にありがとうございます。

また、今回、新たに委員に御就任いただきました桐村様、碓様におかれましては、本審議会の運営に御理解御協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

さて、本日は令和6年度上下水道事業予算について、御報告をさせていただきます。委員の皆様方からの活発な御意見や御質問を頂戴したいと考えております。

簡単ではございますが、本日の会議が実りある会議となることを祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。本日は、よろしくお願いいたします。

#### ○開会及び開会あいさつ

齋藤会長 会議の成立についてご報告を申し上げます。福知山市上下水道事業経営審議会規程第5条第2項の規定のとおり、委員の皆さまの過半数のご出席を賜っておりますので、ただいまから令和6年度第1回福知山市上下水道事業経営審議会を開催させていただきます。

では、まず始めに上下水道部の職員の方の人事異動がございました。新しく来られた方についてご紹介をお願いします。

#### ○上下水道部職員紹介

～松井課長 紹介～

齋藤会長 よろしくよろしくお願いいたします。

では、議事に入りたいと思います。本日は報告事項が3つございます。最初に令和6年度水道事業下水道事業の会計予算について説明をお願いしたいと思います。前年度の予算と比較して報告をお願いしたいと思います。報告をいただいた後に委員の皆さまからのご意見を頂戴したいと思いますので、まずは報告の方をお願いします。

#### ○令和6年度水道事業会計・下水道事業会計予算について

～志賀補佐 報告～

齋藤会長 ありがとうございます。資料1に基づいて水道事業の収益的収支、資本的収支、同じく下水道事業の収益的収支、資本的収支の説明をいただきました。委員の皆さまからご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

越後副会長 給水戸数は増えていますが、これはまだしばらく増えていくようなものでしょうか。

志賀補佐 給水戸数増加の要因としましては、集合住宅が福知山市の場合かなり頻繁に建設されていますので、それに伴い給水戸数が増加傾向にあるというところがございます。

越後副会長 収益的収支において、水道事業は修繕費の増があり、下水道事業においては例えば処理場費で動力費や修繕費の減がありますが、更新のタイミング等による年度ごとの増減と考えてもいいですか。特に処理場費のところでは動力費や修繕費の減と書いてありますが、昨今電力費等が上がっているのに、動力費は減るものなのかと思ったのですが。

志賀補佐 水道事業の修繕費の増につきましては、労務単価や物価上昇を反映したことが増加の要因と考えております。

下水道事業の動力費の減につきましては、令和5年度予算編成時には電気料金が上昇傾向だったものが、令和6年度予算編成時には高騰が落ち着きを見せたことを反映した結果によるものです。

碓委員 水道事業の資本的収支について、先ほどの説明で施設改良費が100,000千円超上がっているのは芦洲浄水場の処理場改修という説明があったかと思いますが、収入の方で企業債や一般会計からの出資がそれに伴って増えているという認識で間違いはないですか。

志賀補佐 令和6年度から総務省の繰出基準における上水道の出資に要する経費という項目で、PFOSやPFOAといった人の健康に影響を与える疑いがある物質の除去に関する施設を建設する費用が繰出基準に該当したということで一般会計出資金が増加し、企業債も増加したということになります。

碓委員 財源としては交付金でなく、出資金と企業債で対応されているというのでしょうか。

志賀補佐 交付金は該当しておりません。

碓委員 起債は充当率どれくらいで予算措置されていますでしょうか。

志賀補佐 起債は1/2、つまり充当率50%を想定しています。

齋藤会長 ありがとうございます。他に質問はございませんでしょうか。なければ水道・下水道事業の予算についてご確認いただいたということで次に進めさせていただきます。続きまして、資料1の3「建設改良費の内訳」と対応しまして、令和6年度水道事業計画につきまして事務局よりご報告をお願いいたします。

#### ○令和6年度水道事業計画について

##### ～井上次長 報告～

齋藤会長 ありがとうございます。委員の皆さまからご質問・ご意見等ありましたらお願いします。

越後副会長 有機フッ素化合物のところですが、水質管理の強化と考えた時、浄水処理の強化には対応できているかと思うのですが、検査体制の強化については何か変更を考えられていますか。

井上次長 この芦渚浄水場に関わらず、市内全域の施設で年1回この物質について検査を行ってきたところですが、今回のことを受けまして、芦渚については3か月に1回という頻度で監視することとしております。また、今回この施設が完成しましても、活性炭は永遠に物質を取り込むものでなく、一定量を超えますと吸着しなくなりますので、飽和の手前で取り換える必要がありますが、これは見た目ではわからないため、その前後で除去率をこまめにモニタリングする必要がありますと考えております。具体的な計画はこれからたてるのですが、有機フッ素化合物の値が出ている限り監視が必要だと考えています。

越後副会長 PFOS、PFOA は活性炭で吸着できるのですが、吸着しやすい物質ではないので、活性炭を入れ替える頻度がほかの汚染物質と比べて比較的高いのかなという印象を持っています。今後ずっと活性炭による処理をやっていけばいいという話ではなく、監視の頻度を上げて、有機フッ素化合物の値がもう出ないとなれば前処理を続けなくていい、という視点で慎重に今後の推移を見られたらいいのかなと思いました。

齋藤会長 ありがとうございます。他に質問はございませんでしょうか。なければ、令和6年度の水道事業計画について確認いただいたということで次に進めたいと思います。次は、令和5年度下水道事業計画について、資料1の3「建設改良費の内訳」と対応した資料3を使ってご説明をお願いします。

#### ○令和6年度下水道事業計画について

##### ～山本次長 報告～

齋藤会長 ありがとうございます。委員の皆さま、ご質問、ご意見等ありがとうございました。

谷垣委員 7ページのマンホールトイレの設置工事について、1期工事は令和3年度から令和7年度と、残り2年ですが、六人部地区公民館と同じような環境の指定避難所は市内に何か所かあると思います。今後も継続して実施されると理解してよろしいですか。

山本次長 マンホールトイレにつきましては、下水道事業として総合地震対策計画の中で計画を立てて現在実施しています。公共下水道エリアの中で計画に入っているのが、市民交流プラザ、三段池総合体育館、武道館、長田野体育館、日新地域公民館、成和地域公民館、六人部地域公民館、川口地域公民館です。現在のところ三段池総合体育館、武道館、日新地域公民館について完了しております。施設本体の大規模改修と合わせてマンホールトイレも設置していく計画となっており、順に施工してまいります。

齋藤会長 ありがとうございます。7ページに書いています地震対策の第1期ですべてを網羅しているということではなく、2期があるという前提で1期があるということによろしいですか。

山本次長 そうです。

齋藤会長 ありがとうございます。ほかにございませんでしょうか。

中井委員 福知山終末処理場の汚泥処理再構築事業について、現在令和7年度の完成に向かって施工されているとのことですが、令和8年度以降の維持管理（オペレーション）についても、現在施工されている業者が引き続き請け負うということでしょうか。

山本次長 福知山市と日本下水道事業団とでDB（設計・施工）+O（オペレーション）の協定を結んでおりまして、現在日本下水道事業団の発注によりDBを行っていただいております。Oの部分については今後、DBの受注業者を中心にSPCを立ち上げて、福知山市とSPCとでOに関する契約を締結する想定をしています。

中井委員 今現在維持管理に関わっておられる方も、参加をする余地はあるということですね。

山本次長 DBにOを加えることを想定した当初の要求水準書では、地元企業等の配慮も点数配分の項目としており、その要求水準書に基づき今回の事業体選ばれているものです。

齋藤会長 他に質問がなければ、本日の内容については以上となります。閉会にあたりまして越後副会長よりご挨拶をいただきます。

#### ○閉会及び閉会あいさつ

越後副会長 皆さま長時間お疲れ様でした。今年度は、国の方で厚生労働省が所管していた水道事業が国土交通省に移るということで、上下水道行政が大きく変わるかもしれない大事な時期にあります。そういった中で、今年の初めに能登半島地震があり、日本のあちこちで有機フッ素の汚染の話がでて、いろいろな課題を抱えた船出になったなどという印象です。そういった中、今までは比較的大きな水道事業体に大

きな問題が生ずるパターンが多かったのですが、能登半島の被害などをみていると、小さい水道が個別に被害を受けていて、フッ素の話も比較的小さいところでも汚染の話が出ているということで、これまで以上に水道事業にも目を配っていかなければいけないと身をもって体験しているのではと思います。もちろん上下水道部の皆さんもしっかりお仕事されていると思いますが、数が増えていくとどうしても毎日チェックが難しいと思うので、委員の皆さまや市民の皆さまも興味をもってコミュニケーションしていくのがいいのではと思いました。なので、この会議が大事であり、市民の皆さんと上下水道部の皆さんの接点のひとつだと思うので、引き続き活発なご意見をいただければと思いました。今日はありがとうございました。

齋藤会長 ありがとうございました。次回は11月中旬の開催を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。

それではこれで令和6年度第1回福知山市上下水道事業経営審議会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。